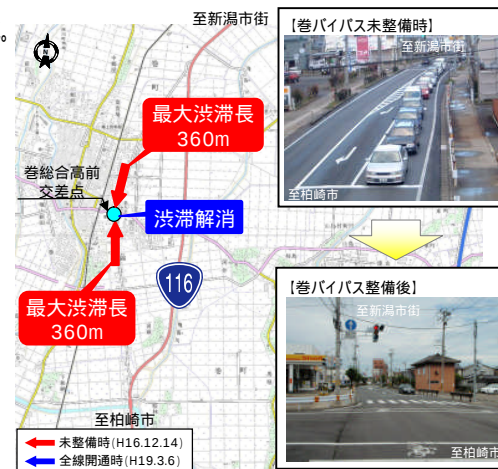
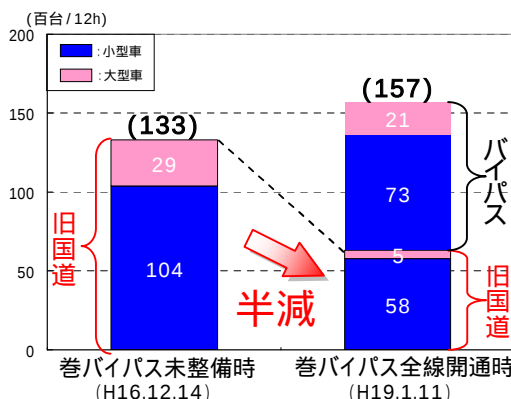


巻バイパス整備における旧道沿線上の住環境改善

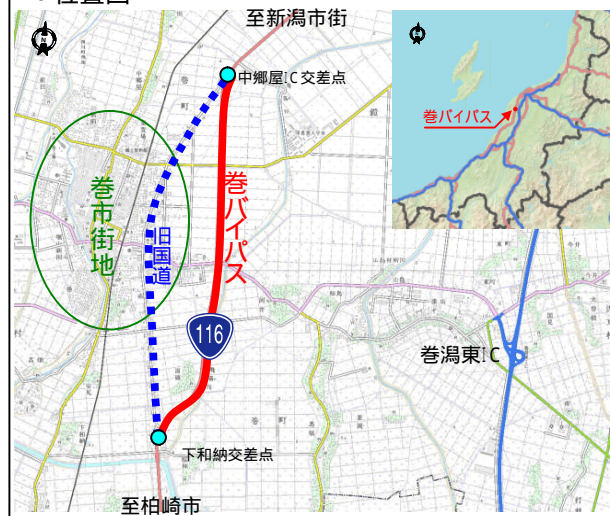
- ・一般国道116号に面している巻市街地は通過交通量が多い。
- ・その一方、道路幅員が狭いため、交通渋滞および死傷事故件数が多い事で問題となっている。
- ・H18年12月の巻バイパス全線開通以降は、巻市街地の通過交通量がバイパスに転換し市街地内の渋滞が解消した。
- ・また、死傷事故件数も大幅に減少するとともに、交通騒音も環境基準値を下回り、沿道地域の安全面および環境面も改善された。

● 交通量の転換と渋滞緩和

- ・巻バイパス整備により、旧国道の交通量が半減。
- ・また、巻市街地で発生していた渋滞が解消。



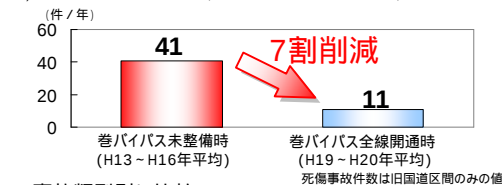
● 位置図



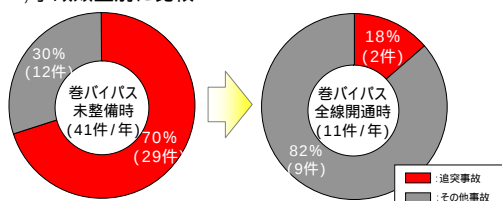
● 死傷事故件数

- ・死傷事故件数は、巻バイパス整備後7割削減。
- ・特に追突事故の削減率が著しく削減。

1) 死傷事故件数比較 (旧国道区間の死傷事故件数)

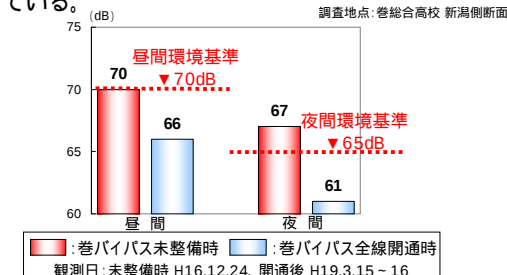


2) 事故類型別に比較



● 騒音

- ・夜間における騒音値が大幅に減少。
- ・巻バイパス整備後は、夜間環境基準値を満たしている。



● 地域住民の声

- ・バイパス供用後、旧国道の渋滞が解消し、店舗への右折乗り入れも安全になった。→巻ライオンズクラブ懇談会より
- ・旧国道の交通量が減った事で、車の走行および歩行も動きやすくなった。→旧国道沿線の住民 (自治会長)